

## 2021年度 明治学院大学 & 同窓会の出来事

- 4月1～3日
  - 入学式 教室に分散してオンライン。入構は新入生のみ、保護者、在校生は不可。チャペルで収録映像を配信
  - 授業は対面で開始
  - ダンスサークルで集団感染 ⇒ 構外での課外活動禁止（対外公式大会は可）
    - 同窓生のお店を紹介するサイト「明学ストリート」がスタート
- 4月25日
  - 東京都第3次緊急事態宣言発出 ⇒ 授業はオンラインに
- 5月
  - ⇒2020年4月入学生（2年生）の入学式開催予定が9月17日に延期
  - 新入生オリエンテーション実施（8日（土曜）・15日（土曜）・22日（土曜）） 但し、希望者のみ。
  - 興味あるクラブ、サークルのブース（教室）にて面談。例年実施の遠望橋での机、椅子、看板設置は無し
- 6月
  - 同窓会の情報委員会が広報委員会に名称変更
  - 新型コロナウイルス感染症対応給付奨学金  
40万円（春学期分）募集期間①6月1日～②7月12日～③8月17日～  
私費外国人留学生 新型コロナウイルス感染症対応給付奨学金  
10万円（春学期分）募集期間①6月1日～25日
- 6月20日
  - 東京都緊急事態宣言解除
- 6月21日～
  - 対面授業に再開 但し希望者はオンライン
- 6月30日
  - 法学部の高田寛教授が共同通信社の取材を受けられ、各地に地方新聞で論評「東芝・猛省と経営刷新不可欠」掲載されました。  
東芝を巡る諸問題① 経営陣のコンプライアンス ② 政府の海外からの民間投資への関与
- 7月12日
  - 東京都第4次緊急事態宣言 ⇒ 授業はオンライン
- 8月17日
  - ワクチン職域接種 第1回9月4日、5日 第2回10月3日、4日。  
対象者、学生、教職員希望者全員。
- 9月6日
  - 秋学期 9月18日～10月16日 授業オンライン（授業の特性、教授判断で対面もあり）
- 9月30日
  - 東京都緊急事態宣言解除
- 10月4日
  - 秋学期10月18日授業は対面に。ワクチン接種 2回目終了後2週間経過により。
- 11月
  - 学生の課外活動が多少緩和
- 11月19日
  - 白金キャンパス クリスマスツリー点灯式 1月7日 ツリー撤収
- 11月25日
  - 福岡県とUIターン就職協定締結
- 12月13日
  - 2022年度 授業は対面を継続 発表
- 1月
  - 新型コロナウイルス感染者数 激増。全国各地で蔓延防止等重点措置発出。
- 1月24日
  - 明治学院同窓会 新年交流会をYouTube 配信 ① 新年礼拝 ② 歴史資料館講演
- 1月26日
  - 理系の新学部「情報数理学部」2024年に設立構想を発表（➡裏面でご覧下さい。）

### 大学の様子

大学は対面授業を基本としていますが、前期は緊急事態宣言発出された為、多くがオンラインになりました。9月4日から学生、教職員希望者全員に対してワクチン職域接種が行われ、10月4日、2回目が終了し、10月18日からは授業が対面になっています。（希望者はオンライン可）

卒業式と入学式、昨年度は実施できませんでしたが、今年度は実施されました。但し、チャペルに全員が集まってではなく、教室に分散し、チャペルから式の様子がオンラインで配信されるという形態でした。

課外活動は昨年、厳しく制限されました。現在、制限は緩和されましたが、以前のような状態ではありません。白金祭はオンラインで11月1日～3日まで、開催されました。キャンパスは許可者以外入構禁止で、閑散としていました。



# 明治学院大学として初の 理系学部「情報数理学部」を 新設します。

2024年4月  
開設予定  
(仮称・設置構想中)

## 新学部「情報数理学部」概要

学部名称：情報数理学部 | 学科名称：情報数理学科  
学生定員：1学年80名 | 学位名称：学士（情報数理学） | キャンパス：横浜キャンパス

### 要旨・目的

明治学院大学は、その淵源である1863年のヘボン塾開設から、一貫して時代に必要な教育の実現を目指してきました。

この度、その教育の実現および大学の教育の範囲拡充を目指して、明治学院大学として初となる理系の新学部『情報数理学部』を設立することにいたしました。情報数理分野は急速に発展しており、社会的な要請が高まっている分野です。社会の動きに合わせて大学の教育を拡充し、卒業生の活躍の場を拡げることが大きな目標です。

大学は真理を探究する研究・教育機関であり、自然科学もそれに重要な視点を提供してきました。明治学院大学もここで理科系の学部を備えることになり、教育理念“Do for Others（他者への貢献）”のもとで、University（総合大学）としていっそうバランスのとれた人材を育成し、世に送り出そうと考えています。明治学院大学は常に多様性を追求してきた大学です。今回、そこに新たに理系の背景をもった教員や学生が仲間として加わります。キャンパスで様々な文化背景を持った学生が出会い、交流し、共同で作業することで、他者を理解し、共生社会の担い手となってほしいと願っています。

### 情報数理学部について

近年、AI（人工知能）を中心とする情報技術が急速に発展し、社会を変えつつあります。文部科学省による数理・データサイエンス教育の推進、内閣府によって提唱されたSociety 5.0などにより、今後情報数理分野はさらに重要性を増し、情報数理を修めた人材が求められていくでしょう。本学の情報数理学部は、情報技術の動きを数理の立場から学んでいこうとする学部です。

情報数理分野では、ICT（Information and Communication Technology）を活用した授業やPBL（Project Based Learning）など、新しく柔軟な形態の教育が開発され、既に実施され始めています。明治学院大学もこうした教育をとりいれ、これまで培ってきた教育方法や内容と組み合わせながら、新時代に向けてさらに発展した授業を展開します。

社会からの期待が高い情報数理分野は、産学官連携の機会創出にもつながります。明治学院大学の立地の良さを生かして、様々な連携ができる可能性があります。

明治学院大学はこれまで文系の総合大学として、大きな成果を蓄積してきました。この財産を生かすため、情報数理学部と既存の学部・組織との有機的な連携を目指して『情報科学融合領域センター』を開設します。このセンターは、新学部と既存の学部との連携の舞台になると同時に、学外との産学官連携の窓口にもなります。

### 学長からのメッセージ

私たちがものを考え、判断を下すとき、頭の中では何が起きているのでしょうか？どんな情報がどんな方法でやりとりされているのでしょうか？人間の頭脳は常に人々の驚異と興味の対象でした。近年の情報科学の発達、コンピュータの能力を部分的に人の思考に近いレベルまで引き上げました。近い将来、私たちの社会にはAI（人工知能）が仲間として加わってくると言われています。

明治学院大学は開学以来、設置する初めての理系学部として『情報数理学部』を選びました。ここでは数学や情報科学を使って、AIの能力や未来の可能性を探ります。また、人間にとってAIとうまく付き合うにはどうすればいいのかについて考えます。情報数理学部が扱う分野は非常に若く、しかも急速に発展しています。若い学生の皆さんがここで身につけた知識を使い、世界の情報分野で活躍してくれることを願っています。

学長 村田玲音